

ITUAJより

編集後記

関東地方の梅雨入り後、まだ体が暑さに慣れていない時期の記録的な高温、さらに高湿度となった本号制作中のある日、救急車が近所に停まる音が聞こえてきました。昨夏は大変暑く、テレワークをしていると日課のようにサイレンを聞きましたが、今年もいよいよその季節がやってきたのかという思いがよぎりました。

最近では、以前よりも低く柔らかい感じのサイレン音を聞くこともあります。住宅街や夜間のサイレンに関する苦情・要望を踏まえて、数年をかけて開発されたそうです。法律で定められた2つの音の周波数は変わらず、それに少し低い音を重ねて不快感を和らげているとのこと。聞こえる音の印象はかなり違うのに、基本となる周波数は同じだということに驚きました。

さて、目には見えないものの、耳には聞こえる音とは異なり、見えも聞こえもしないけれども、利用せずには現在の生活が成り立たない電波。今や周りにあって当たり前のような無線LANの環境ですが、通信速度の増加と共にWi-Fiの標準規格も世代を重ね、第7世代の普及が始まろうとしています。

本号スポットライトでは、そのWi-Fi 7の特徴と進化のポイントについて、詳しく解説をいただきました。どうぞご精読ください。

ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	深堀 道子	総務省 国際戦略局
〃	寺山由希子	総務省 国際戦略局
〃	谷内 正登	総務省 国際戦略局
〃	林 祐二郎	総務省 総合通信基盤局
〃	橋本 昌史	国立研究開発法人情報通信研究機構
〃	山本 浩司	日本電信電話株式会社
〃	中山 智美	KDDI株式会社
〃	大山 真澄	ソフトバンク株式会社
〃	陶山 桃子	日本放送協会
〃	新井 勇太	一般社団法人日本民間放送連盟
〃	酒見 美一	通信電線線材協会
〃	長谷川一知	富士通株式会社
〃	森 正仁	ソニーグループ株式会社
〃	神保 光子	日本電気株式会社
〃	中平 佳裕	沖電気工業株式会社
〃	阿藤 友紀	一般社団法人情報通信技術委員会
〃	三木 啓嗣	一般社団法人電波産業会
〃	山崎 信	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
顧問	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〃	新 博行	株式会社NTTドコモ
〃	田中 良明	早稲田大学

編集委員より

AI関連の妄想？

ソフトバンク株式会社

おおやま ますみ
大山 真澄



私事ですが、先般10年ぶりに引っ越しをしました。定期的に不要なものを捨ててきたつもりが、長年住んでいると知らないうちに色々ものがたまっていて自分でも驚きました。すべて捨てることにしたものの、結局は引っ越し先で片付けを継続中です。

これを今はやりの生成AIに文字数を指定して書かせてみました。Chat GPT-4.0に例えば100字で同じ内容を書くように指定すると、以下の文章を出力してきました。

「最近、10年住んだ家からの引っ越しを経験しました。思っていた以上にハードで、驚くほど多くの不要なものが累積していました。不要と分かっている、それぞれに思い出が詰まった品々だったので手放すのは難しかったです。さらに、大型家具の移動も大変でした。引っ越しは物理的、精神的な負担が大きい一方で、新たな生活への門出という意味でも大切な瞬間でした。」

100字（といいつつ169字）なので若干稚拙なところも見受けられますが、300字、400字……、と試してみると、私自身が書くよりも良い原稿が書けています。もちろん、もっともらしいが間違っている場合もあるわけですが、もう巻末言もキーワードと要旨を指定してAIに書かせた方が良いかもしれません。

いささか旧聞に属しますが、今年2月のMWCバルセロナのキーワードの一つはAIであったと思います。これまでもベンダーや通信事業者もネットワークのAI化を進めてきましたが、生成AIの衝撃から1年余、より強力にAI化を推し進めています。AIにより計画や実行が省力化されると、これまで多くの人数を要していた計画・管理部分に人数を割く必要がだいぶなくなるのではないかと思います、その先をつらつら考えると、何十年後かは分かりませんが結局責任を取るごく少数の人間しか通信事業に要らないのでは……、というブラックな考えに至りました。妄想はこれぐらいにしておきます。

ITUジャーナル

Vol.54 No.7 2024年7月1日発行/毎月1回1日発行

発行人 山川 鉄郎

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、石田直子、平山早美

編集協力 株式会社クリエイティブ・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会